

大学コンソーシアムやまがた 総務運営委員会 記録 (案)

日 時 平成19年5月23日(水) 15:30~18:00
場 所 山形大学事務局4F第2会議室
出席者 委員長 中村三春(山形大学)
副委員長 柚木泰彦(東北芸術工科大学)
委 員 松田幹夫(教育連携部会長/県立保健医療大学)
下平裕之(地域活動部会長・代理/山形大学)
友光健二(学術情報部会長/山形大学)
栗山恭直(山形大学) 伊東知之(羽陽学園短期大学)
舟越利弘(県立農業大学校) 佐竹正行(山形大学)
中嶋健治(東北芸術工科大学) 阿部愼悦(県立保健医療大学)
半澤昌子(山形短期大学) 江口裕之(鶴岡工業高等専門学校)
結城政幸(放送大学山形学習センター) 大戸次男(県立産業技術短期大学校)
森谷伊都子(山形県)
欠席者 委 員 内田勝雄(県立保健医療大学) 呉 尚宏(東北公益文科大学)
嶋崎伸一(県立米沢女子短期大学) 鈴木義昭(山形短期大学)
菊地 朗(山形大学) 池田浩一(東北公益文科大学)
片岡卓爾(県立米沢女子短期大学) 巻 久(羽陽学園短期大学)
長谷川守男(羽陽学園短期大学) 佐藤 勉(鶴岡工業高等専門学校)
工藤 誠(県立産業技術短期大学校) 西村妙子(県立農業大学校)
オブザーバー出席 大場英次(東北芸術工科大学)

議事に先立ち、委員長から、新規加入の県立産業技術短期大学校と県立農業大学校の紹介があった。次いで、出席者の自己紹介の後、委員長から、本日の議題に関連して東北芸術工科大学の大場大学改革担当課長がオブザーバー出席している旨説明があった。

議 題

1 総務運営委員会副委員長について

委員長から、東北芸術工科大学の委員の交替があり、これまで本委員会の副委員長であった早坂先生に替わって柚木先生が委員となった旨説明があった。

次いで、委員長から、参考資料3により本コンソーシアムの組織および業務内容について説明があった後、新たな副委員長として、本委員会の副担当校である東北芸術工科大学の柚木先生にお願いしたい旨提案があり、全会一致で了承された。

2 18年度事業報告および収支決算見込について

委員長から、資料1-1、2に基づき、18年度の事業報告書(案)および収支決算書(案)について説明があり、質疑応答の後、諮られた結果原案どおり了承され、幹事会に提案することになった。

質疑応答の内容

Q 17年度と18年度の繰越額に差異が生じているのはなぜか。

A 文科省からの交付金が、初年度の17年度は500万円近い額であったが、18年度は約107万円に減額されたことに伴い生じた差異である。

3 19年度事業計画および収支予算について

委員長から、資料2-1、2に基づき、19年度の事業計画書（案）と収支予算書（案）について詳細説明があり、質疑応答・意見交換の後、諮られた結果原案どおり了承され、幹事会に提案することになった。

説明の主な内容

- ・ 昨年に引き続き、大学入試センターとの共催事業の、高校生向け「ガイダンスセミナー」と教職員向け「高大連携フォーラム」を計画
- ・ 新規事業は、後期開講のゆうキャンパスコーディネート科目「キャリア教育」／県から半額補助される地域活動支援事業「地域づくりセミナー」／県との共同事業「やまがたサイエンスカフェ」
- ・ 各機関の負担金（会費）は、学生収容定員1人あたり単価を前年度と同額で積算
- ・ 事務局職員1人増で運営経費を計上
- ・ 前年度比、収入予算の減額により、支出予算は緊縮予算
- ・ 前期中に、機関負担金（会費）の見直しの検討を行いたいと考えている。

質疑応答・意見交換等の主な内容

Q 広報誌の予算がかなり減額されているが。

A 掲載内容、紙質、サイズ等で調整いただきたい。

Q 機関負担金の見直しについて、各機関とも財政的に厳しい状況にあると思われるので、増額を考えるのではなく、予算に合った事業を考えていただきたい。

A それも併せて検討いただきたい。

次いで、本委員会の担当事業である「やまがたサイエンスカフェ」について、栗山委員から、資料2-3に基づき、7/7の1回目の事業と、学生の実行委員会の持ち方について説明があった。また、委員長から、資料2-4に基づき、10/18開催予定の「高大連携フォーラム」について説明があった。

4 ゆうキャンパスホームページについて

委員長から、本コンソーシアムのホームページについて、本年4月までは業者に管理業務を委託してきたが、5月から山形大学のサーバに移行し運用を開始した旨説明の後、資料3-1に基づきホームページの管理・運用（案）についての説明と、システム担当者から、資料3-2のマニュアルに基づき、使用方法等について詳細説明があり、意見交換の後、諮られた結果、原案どおり了承された。

説明の主な内容

- ・ ホームページは、各事業および各機関の担当者にログインアカウントを配付し、担当ごとに更新する方法をとる。

- ・ 予算書および決算書、事業計画書および報告書、全事業部会の構成員、総会ははじめ各種会議の議事録、各事業等の実績報告書を掲載し公表していく。

意見交換の主な内容

- ・ 業務負担にならないよう配慮してほしい。

5 幹事会（5／30）の議題について

委員長から、資料4に基づき5月30日（水）開催予定の幹事会の議題（案）について説明があり了承された。

6 その他

(1) コンソーシアムを基盤とした県内進学啓発について

オブザーバー出席の東北芸術工科大学・大場課長から、資料5に基づき、同大学で検討された、県内高卒者の県内大学等への進学率のアップに向けた本コンソーシアムとしての活動（案）について説明があり、意見交換の後、今年度は予算的に厳しい状況にあることから、比較的経費を要しない各機関のオープンキャンパス等の情報提供については実施する方向とするが、各機関持ち帰り検討するとともに、本委員会として来年度に向けて検討していくことになった。

また、本件は大きな問題であることから、幹事会にも報告することになった。

配付資料

参考資料1	総務運営委員会委員名簿
参考資料2	コンソーシアム会則
参考資料3	コンソーシアム組織図
資料1-1	18年度コンソーシアム事業報告書（案）
資料1-2	18年度コンソーシアム収支決算書（案）
資料2-1	19年度コンソーシアム事業計画書（案）
資料2-2	19年度コンソーシアム収支予算書（案）
資料2-3	「サイエンスカフェ」企画（案）
資料2-4	山形県大学ガイダンスセミナー企画概要（案）
資料3-1	ゆうキャンパスホームページの管理・運営について（案）
資料3-2	ゆうキャンパスホームページマニュアル
資料4	コンソーシアム幹事会議題（案）
資料5	コンソーシアムを基盤とした県内進学啓発について